



磐梯山

表と裏側 違う美しさ

磐梯山は、猪苗代町、磐梯町、北塩原村にまたがる山で、標高1816mの成層火山です。山の南側は表磐梯と呼ばれ、整った形をしています。山の北側の裏磐梯は、山が崩れた荒々しい姿を見ることが出来ます。これまで何度か噴火が起き、今の形になりました。1888(明治21)年7月15日の早朝に起きた大噴火では、山頂近くが崩れて岩なだれが起き、ふもとの集落が埋まって477人が亡くなりました。この噴火で山の北側の川がせき止められ、桧原湖や五色沼など数百の湖や沼ができました。今では磐梯山と裏磐梯は美しい景色が楽しめる観光地となり、たくさんの方が訪れています。

「メモ」磐梯山は会津地域のシンボル。民謡「会津磐梯山」では「宝の山」と歌われています。磐梯山のまわりは、火山活動でつくられた地形と自然、動物や植物、歴史や文化を学べる「ジオパーク」になっています。

▲7月3日 福島民友新聞掲載

きじをよんでおもったこと、みんなとはなしてかんじたことをかこう。(120字くらい)

Blank writing area with horizontal lines for text entry.